

① 認知症の疑いや初期症状があるが、日常生活は

自立している

こんなときに使える
支援・サービス

今までできていたことがおっくうになる

出かけることが好きでしたが、
外出が減り家にこもることが増えました。

外に出るのはめんどくさい。
気が乗らないし、人目も気になるの。



あんなに活動的だったのに、全然出かけなくなって心配だわ。



探し物が増える

メガネをどこに置いたかわからなくなっています。

あそこにおいたはずの
メガネがないわ・・・



いつものところに
おいてあるのに、何で
わからないのかな？



簡単な計算ができない

小銭があってもお札で支払うので、財布の中は
小銭でいっぱいです。

（細かい計算ができないから）
計算が面倒だわ。



財布は小銭がたくさん
入ってるのにどうして
使わないのかしら？

※店員



手順の多い事をしなくなる

手の込んだ料理を作らなくなりました。
また、料理を失敗することも増えました。

次は何をしたらいいのかわからない
わ・・・。前はどうやって作ってた
っけ・・・？



料理が得意だったのに最近は作る
ことが減ったな。昔はこんな味付け
じゃなかった気がする・・・。



すべてが面倒になり、以前は好きだったことで
も興味がわかなくなります。

- 一緒に出掛ける
- 好きだった場所に誘う
- 好きだったことを一緒にしようと声をかける

日常とは異なる変化に戸惑っており不安を感じて
います。

- 間違いを否定せずに優しく教える
- 置き場所を一緒に確認する



お金の計算が難しくなっているので、小銭では
なく、お札を出してお釣りをもらおうとします。

- 「細かいのと両替させて」などと言って
小銭をお札に両替する



複雑な工程が理解できなくなりますが、
一つ一つの作業を行うことは可能です。

- 見守りしながら一緒に作る
- 「たまねぎをみじん切りにして」
など短くわかりやすい言葉でお願いする



3. 社会参加したい

- ① 福祉センター、
地域ふれあい施設
- ② 老人クラブ
- ③ 健康体操同好会
- ④ 地域のサロン等
- ⑤ プラチナカフェ

9 ページ

4. 見守り支援

- ①e フレイルナビ

10 ページ

7. 住み慣れた自宅で過ごす

- ☆⑦ 通所型サービス A
- ☆⑧ 通所型サービス B
- ☆⑨ 通所型サービス C

11 ページ

5. 日常生活の手助け

- ③ 民間配食サービス
- ④ 市配食サービス

10 ページ

7. 住み慣れた自宅で過ごす

- ☆② 訪問型サービス A
- ☆③ 訪問型サービス B
- ★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)

11 ページ

② 認知症の症状があり、日常生活に手助けが必要

こんなときに使える
支援・サービス

短期間に同じことを何度も聞く

朝の薬を飲んだか忘れて、何回も聞いています。

大事な薬なのに、飲んだ覚えがないから不安だわ。



何回も飲んだって言うてるのに・・・何度も同じことを聞かれるとさすがにイライラするなあ。



短期記憶が保持されず、すぐに忘れてしまうので不安になってしまいます。安心できる声かけや対策をしましょう。



- お薬カレンダーで管理する
- 薬の空袋を見てもらい安心してもらう

時間や曜日、季節、年次などがあやふやになり、服の着替えが困難になる

真夏なのにセーターを着ています。

今日は寒いわ！
体を冷やしたらいけないから
たくさん着ましょ！



こんな暑い日に
セーターを着るなんて
どうしちゃったの？



見当識障害により理解や判断が低下し、季節がわからず正しい着方ができなくなります。体温調節機能の低下が原因であることもあります。

- 声掛けに配慮して、季節に合わせた服に交換してもらう
例：「こっちのほうが似合うよ」など
- 季節に合わない服はしまっておく

被害妄想などの行動・心理症状が増える

お金を盗まれたと騒いでいます。

誰かが私のお金を盗んだ！
犯人は嫁に違いないわ！
嫁が私の財産を狙っている！



お義母さんのお金
なんてとらないわよ。



被害妄想を抱く場合がありますが、否定せずに話を聞いて共感しましょう。

- 一緒に探そうと声をかける
- 財布や通帳を見せて安心してもらう



一人歩きして道に迷う

自宅にいるのに「家に帰る」といって家を出て行き、迷っています。

ここはどこ？家に帰りたい・・・



はな子、どこに
いったんだ？



記憶障害・見当識障害が進行すると、知っている場所や身近な人などが認識できなくなることがあります。

- 「一緒に行きましょう」などと伝え散歩に付き合う
- 搜索機器などを利用する



7. 住み慣れた自宅で過ごす
- ☆② 訪問型サービス A
 - ☆③ 訪問型サービス B
 - ★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)
 - ★⑩ 通所介護
(デイサービス)
 - ★⑫ 小規模多機能型居宅介護

11 ページ

5. 日常生活の手助け
- ⑦ 日常生活自立支援事業
 - ⑧ 成年後見制度

10 ページ

4. 見守り支援
- ② 新聞配達等見守り
 - ③ 緊急通報装置の貸与
 - ④ 認知症高齢者搜索機器の貸与
 - ⑤ 高齢者見守りメール
 - ⑥ 認知症高齢者等個人賠償責任保険

10 ページ

③ 常に介護が必要

こんなときに使える
支援・サービス

飲食・排泄など日常の行為が困難になる

トイレではない場所で用を足してしまいました。

母さん！
ここはトイレじゃ
ないよ！

間に合ったわ、すっきりした。



記憶障害・見当識障害が進行すると、使い慣れた
ものや場所がわからなくなることがあります。

トイレ

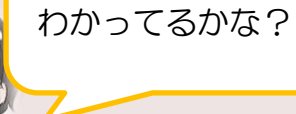
- ・トイレだとわかるように張り紙をする
- ・定期的に声掛けをしてトイレに誘う

言葉による意思表示が難しくなる

会話が成り立たず、意思疎通が難しくなってきました。

僕が言ってること
わかってるかな？

(この人は誰?)
(何を言ってるの?)



会話ができなくても、感情は保たれています。

- ・言語でのコミュニケーションが難しく
なりますが、感情は伝わっています
- ・表情や動作などを見て関わりましょう

寝たきりになり、生活全般に介護が必要

自分で食事を食べられなくなり、介助が必要になりました。

はな子さんのお口に
合うかな？
たくさん食べてくだ
さいね。

(おいしい)
(もうおなかいっぱい)



※介護職員

認知症がさらに進行すると、運動機能など
あらゆる機能が低下することがあります。

- ・声かけすると何らかの意思表示がある
ことがあります
- ・何もできない・わからないと決めつけず
に、温かく声掛けして接しましょう

7. 住み慣れた自宅で過ごす

- ★④ 訪問介護
(ホームヘルプサービス)
- ★⑤ 訪問看護
- ★⑩ 通所介護
(デイサービス)
- ★⑫ 小規模多機能型居宅介護
- ★⑬ 看護小規模多機能型
居宅介護
- ★⑭ ショートステイ

11ページ

8. 安心して 自分らしく暮らす

- ★④ グループホーム
- ★⑥ 特別養護老人ホーム

12ページ

ご家族・介護者のみなさんへ



大切なご家族でも介護は大変なときもあります。
ご家族だけで抱え込まずに上手にサービス・支援
を利用しましょう。
介護しているご家族のための支援もあります。
ぜひご活用ください。

6. 家族への支援

- ① ご家族応援プロジェクト
- ② 認知症介護家族交流会
- ③ プラチナカフェ

10ページ